



# マイコプラズマ肺炎ってどんな病気？

マイコプラズマ肺炎とは「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる、頑固なせきをとまなう呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多いものの一つです。例年、患者として報告されるもののうち約80%は14歳以下ですが、成人の報告もみられます。マイコプラズマ肺炎は1年を通じてみられ、秋冬に増加する傾向があります。

## 主な症状

- 発熱
- 全身の倦怠感(だるさ)
- 頭痛
- 長引く頑固なせき・・・痰を伴うことは少なく、乾いたせきが特徴。せきは少し遅れて始まることもあり、熱が下がった後も長期にわたって(3~4週間)持続することがあります。



肺炎マイコプラズマに感染した人の多くは気管支炎で済み、軽い症状が続きます(一般に、小児の方が軽症で済むと言われています)が、一部の人は肺炎となったり、重症化したりすることもあります。また、5~10%未満の方で、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。

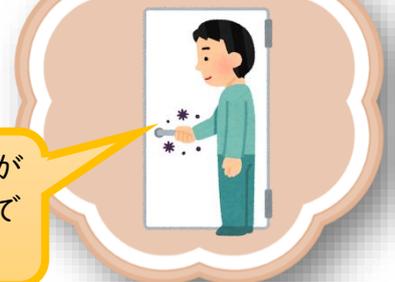
## 感染経路

### 飛沫感染



感染した人のせきのしぶきを吸い込むことで感染する

### 接触感染



感染者と接触したり、細菌がついているものを触ることで感染する

感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2~3週間くらいとされています。

## 治療

マイコプラズマ肺炎は、抗菌薬(細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬)で治療されます。軽症で済む人が多いですが、重症化した場合には、入院して治療が行われます。



★せきが長引くなどの症状がある時は、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

## 予防・対策



流水・石けんで手洗い



タオルを共有しない



咳エチケット